

# 市原市立湿津中学校

## 1 学校の紹介

### (1) 学校教育目標

「心豊かで夢を持ち、たくましく生きる生徒の育成」

### (2) 目指す生徒像

「挨拶ができ、他を思いやれる生徒」

「自ら学び、進んで考え、表現する生徒」

「自己を大切にし、夢や目標に向かって取り組む生徒」

「自他を尊重し、仲間と協力できる生徒」

「健康で安全な生活を実践する生徒」

### (3) 学校の概要

- ・学級数 1年生2学級、2年生1学級、3年生2学級、特別支援学級2学級
  - ・生徒数 1年生45名 2年生33名 3年生40名 119名
- 市原市の東部、市津地区に属しており、比較的落ち着いた環境の中にある。

### (4) 今年度の研究主題

『思考力・判断力・表現力』の向上を目指した読書教育のあり方  
～積極的に読書に取り組もうとする生徒の育成を目指して～

## 2 学校図書館の現状

本校の学校図書館の蔵書は5,733冊であり、学校図書館図書標準には達していない。広い図書館ではないが、本の紹介に工夫を凝らしており、手に取ってみたいと思わせる学校図書館になっている。

学校図書館は、毎日昼休みに開放し、本の貸出しを行っている。また、学校司書が勤務している月・火曜日には一日中学校図書館を開放し、いつでも利用できる状態にしている。本校の学校図書館は、3階の奥に設置されており、静かに読書に取り組める場所にある。1年生の教室から近いため、特に1年生に利用者が多い。毎月の平均貸出冊数は229冊で、一人平均2冊を借りていることになるが、実態としては女子の利用率が高いのが現状である。

学校図書館では、年に数回、教科の授業を行っており、その際には、学校司書に調べ学習のための本の紹介をしてもらったり、ブックトークを行ってもらったりしている。

## 3 司書教諭及び図書主任等の教員の取組

### (1) 校内組織と主な役割

校長 — 教頭 — 職員会議 — 教務部 — 図書館教育（司書教諭）  
生徒指導部 — 生徒会活動 — 学習委員会

司書教諭と学校司書が連携しながら学校図書館の運営や蔵書管理を行っている。また、学習委員会の担当教員が、生徒の図書の貸し出し等の活動支援を担っている。

### (2) 生徒や教員に対する支援

ア 学校図書館の運営に関すること

## 〈図書の購入〉

学校司書と司書教諭が相談しながら図書の購入を行っている。その際には、生徒からのリクエストを参考にするとともに、職員にアンケートを取って各教科や委員会活動での調べ学習に必要な図書のリストを挙げてもらい、学習に役立つ図書の整備ができるように心がけている。

## 〈利用のガイダンス〉

4月に1年生を対象に図書館の使い方、貸し出しの仕方等についてガイダンスを行っている。国語の時間に図書館に1クラスずつを集めて説明をする形である。1年生には、このガイダンス終了後に本の貸し出しを行っている。

## イ 読書推進活動に関すること

### 〈朝読書〉

本校では毎日、朝の10分間を朝読書の時間とし、全校で読書に取り組んでいる。各自が自分の読みたい本を用意して読んでおり、静かな落ち着いた一日のスタートとなっている。休み時間に読書をしている生徒も多く見られ、朝読書が本への興味を高めていると考えられる。読書による集中力の向上、思考力の向上、心の成長を目指して、今後もこの活動を続けていきたいと考える。

### 〈委員会活動〉

学習委員会の活動として、昼休みの図書の貸出しを行うとともに、図書館の積極的な利用の呼び掛けを行っている。月々の貸出し冊数の掲示も行っている。

### 〈図書だより〉

学校司書が毎月1回全校に向けて発行している。図書の紹介や学校図書館の利用状況などを載せ、生徒の読書に対する興味・関心を高めるための働きかけを行っている。

### 〈本の紹介〉

学校図書館では、新しく入った本やおすすめの本にポップを付けたり、本の配置を工夫したりするなど、生徒が思わず本を手にとってみたくなるような学校図書館を目指して環境を整えている。



## ウ 教科等に関すること

### 〈授業への支援〉

授業での学習に必要な本の種類や内容を学校司書に伝え、選書や仕分け作業、本のリスト作りをしてもらった。事前に伝えることにより、使える本の冊数が把握でき、授業の形態を工夫したり、他の図書館から借りたりするなどの準備ができた。一人に一冊の本が行き渡るような学習では、本を読むことに没頭する生徒の姿が多く見られた。

### (3) 学校司書との連携

図書の購入、利用ガイダンス、図書館の整備、図書館の利用状況、授業への支援など、必要に応じて頻繁に相談を行っている。特に今年度は、授業で利用したい本の種類について相談することが多かった。それぞれの教科の学習に必要な本の選書をしたり学校間相互貸借を利用して他の学校から足りない本を借りたりと、授業を行う上で学校司書の力を貸してもらったことが多くあった。



また、図書館で授業を行い、生徒たちにその学習に関連する本の紹介を行ってもらったりもした。生徒たちは真剣に耳を傾けて話を聞き、その後の本選びも真剣に行うことができた。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

年度当初に、各教科で読書教育を取り入れた授業の試みが行えるよう司書教諭が職員会議で呼び掛けを行った。どんな授業案が考えられるかを各教科で検討し、その授業案や授業計画に基づき、図書を活用した授業を行った。

また、授業でどんな本が必要なのかを確認し、購入できるものは購入するとともに、他の図書館から借りられるものは借りる手配ができるよう、学校司書と相談をして授業準備を行った。教科の学習に必要な本を、各教科の教員が自ら図書館で探して用意することもあった。

読書教育の実践を意識することで、図書を活用した授業を例年よりも多く行うことができた。今年度実践した授業内容とその成果は、以下の通りである。

教科	学 習 内 容	学 習 の 成 果
国語	<u>1年「ベンチ」</u> 「ベンチ」の学習後、自分で一冊の本を選び、グループで紹介し合う活動を行った。それぞれの本を教室に置き、誰もが手に取れるようにして興味関心を広げた。 図書室にある本のポップ作りも行った。	<ul style="list-style-type: none"><li>・級友が紹介した本に興味を示し、教室に置かれた本を読もうとする生徒が多く見られた。</li><li>・作ったポップを図書室に置くことにより、紹介された本に手を伸ばす生徒が増えた。</li></ul>
	<u>2年「夢を跳ぶ」</u> 教科書の学習後、図書室で「困難を乗り越えた人」というテーマで一人一人が本を選び、ビブリオバトルを行った。この授業に向けて学校司書に本の選定をしてもらい一人一人に一冊の本が行き渡るよう本を準備した。	<ul style="list-style-type: none"><li>・多くの本により、さまざまな人の生き方を知ることができ、自分の生き方を考えるきっかけとなった。また、自分の考えを人に伝える学習としても有意義な活動であった。</li></ul>

	<p><u>3年「無言館の青春」</u>          図書室で学校司書から戦争にテーマにした本を紹介してもらって授業を行った。その後、班ごとに本の中から詩を一つ選んで作者の思いを読み取り、他の班にそれを伝える活動を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書の話に熱心に聞き入る姿が見られた。</li> <li>・詩の学習にも大変熱心に取り組み詩の理解を深めるとともに、戦争の悲惨さや戦争がもたらすものの大きさについて深く考えることができた。</li> </ul>
社会	<p><u>1年「世界の諸地域5節南アメリカ州」</u>          南アメリカ州にある国々について地域の特色をつかむ学習の導入に図書を利用した。日頃は南アメリカの国々についてあまり馴染みがなくイメージがしにくいことからである。</p> <p><u>3年「中世の日本～第二次世界大戦」</u>          鎌倉から第二次世界大戦までの時代の中から自分が一番興味・関心の高い出来事や人物を選んで、レポート作成を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真が多く載せられた図書を利用することで興味・関心を高めることができた。そこから調べ学習へとつなげ、図書でわからなかったことやさらに知りたい内容をインターネットで調べるなど、図書とICTを織り交ぜながら学習を行うことで理解を深められた。</li> <li>・学校図書館にある本や自分で用意した本を参考文献として活用することにより、各自が意欲的にレポートに取り組むことができた。</li> </ul>
数学	<p><u>1年「方程式」</u>          古代中国の数学書「九章算術」に「方程式」について書いてあることを紹介した。</p> <p><u>2年「連立方程式」</u>          「孫子算経」の中にある鶴亀算の問題を提示し、解き方をいろいろ考えたり問題作りをしたりした。</p> <p><u>3年「標本調査」</u>          図書館にある本の1ページから無作為に50文字を選んでその中にある数字を調べ、一冊の本で一番多く出る数字を調べてベンフォードの法則が成り立つことを確認した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古くからの書物の中にも今と同じ言葉が使われていることがわかり、数学の重要性が意識された。</li> <li>・数字を変えて問題作りをすることで、昔の問題を身近に感じることができた。</li> <li>・多くの資料を調べることで、数学の法則が日常生活の中に生きているという実感を持たせられた。</li> </ul>
理科	<p><u>2年「動物の生活と生物の進化」</u>          「みんなの知っているセキツイ動物を分類してみよう」という課題で、百科事典「ポプラディア」を用いた調べ学習を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット検索ではいろいろな情報があり、どれが正しいのかを判断するのは難しいが、百科事典を利用することにより正しい情報を調べてまとめ</li> </ul>

	<p>行った。百科事典は、図書室にあるものに加え、学区の小学校にあるものを借りて学習に臨んだ。</p>	<p>ることが容易にできた。</p>
英語	<p><u>1年 Unit8 「イギリスの本」</u> イギリスの本を紹介する授業で、図書室にあった「ハリー・ポッター」、「クマのプーさん」、「ピーターラビット」の本を見せた。</p> <p><u>2年 Let' s Read 大工の贈り物</u> アメリカの伝承文学の題材をもとに原文の要約文を学習した。</p> <p><u>3年 Unit 1</u> 受動態の学習の中で、日本の近代文学の題名と作者について学習した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本に興味を持った生徒が多く、授業後には紹介した本を読もうとする生徒が多く見られた。図書室にも足を運んだ生徒が多かった。</li> <li>• 生徒たちは、アメリカの人々の考え方を少し理解できた。</li> <li>• 太宰治、夏目漱石、宮沢賢治らの作品について理解できた。</li> </ul>
音楽	<p><u>1年 合唱の響きを楽しもう</u> 合唱をする時の姿勢や口の開け方、声の出し方などをグループごとに本を使って調べた。調べた内容を実際に歌って検証した。</p> <p><u>2年 日本の音楽に親しもう</u> 歌舞伎について、日本音楽の雑誌を活用して歌舞伎の雰囲気をつかみ、文章から歌舞伎についてわかったことを書き出した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 歌うときの姿勢や口の形を絵で確認することで実際の動き方がわかり、互いに教え合うことができた。また、図を書き写すことで理解を深めることができた。一冊だけではなく他の本も見てみたいという意欲を持った生徒が多かった。</li> <li>• 歌舞伎の隈取り、顔の色、衣装の色などの鮮やかさを目で見ることで、実際の歌舞伎の様子を理解することに役立った。</li> </ul>
美術	<p><u>1年「そっくりにつくろう」粘土細工</u> クレイ粘土を使って食品を精密に表現するときに、参考図書として食品の写真などを活用した。クレイ粘土の技法についても図書を利用しながら学んだ。</p> <p><u>2年「光と影の空間演出」ランプシェード</u> 和紙とマーメイド紙を使ったランプシェードの制作において、切り絵の図案を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 精密な表現のために必要な設計案を具体的にイメージすることができた。下絵も、本の写真を見ながら形、色、質感を描き、制作につなげることができた。</li> <li>• 光の分量や色合いを図書を利用しながらイメージすることができた。制作前に切り絵の特性を理解することが大切なため、図書の利用は大変有</li> </ul>

	<p>選ぶときに図書を利用した。</p> <p><u>3年「刻まれた祈り」日本美術史</u>          修学旅行に合わせて日本美術の鑑賞レポートに取り組んだ。事前に仏像や建築、庭園など、興味のあるテーマを選び、調べ学習を行った。その際には、20冊（1人1冊）程度の図書を準備し、調べに使用した。</p>	<p>効であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行では、図書を見てあらかじめイメージしていたものと現地で実物を目にしたときの印象の違いを感じるなど、事前に知識を持っていることによる深い鑑賞ができた。</li> </ul>
技術	<p><u>1年「材料と加工に関する技術」</u>          木材加工に使用する道具や身近に使われている技術について、図書を利用してレポート作成を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の中の図によって説明されているものを参考にレポートを作成することで、より詳しく調べられた。</li> </ul>
家庭	<p><u>2年「郷土料理と行事食」</u>          郷土料理とはそれぞれの土地に伝わる伝統文化であることを認識してもらうため、千葉県郷土料理が載った本を授業で活用した。</p> <p><u>2年「暑い時期にとる食品」</u>          暑い時期に食べると身体の調子を整えてくれる野菜を例に挙げ、どの成分が暑い時期を乗り切るために有効なのかなどを、本を見ながら確認した。</p> <p><u>3年「幼児の心身の発達と家族の役割」</u>          幼児の「基本的な生活習慣」「社会的な生活習慣」の学習において、「すくすく子育て」（PHP出版）を使って幼児への対応の仕方についての学習を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理についての知識の少ない生徒が多かったが、本の写真を見ることによって自分たちが住んでいる郷土の料理への認識が高まった。</li> <li>・野菜の効能についての興味を高めた生徒が多くいた。栄養や効能について書かれた本を見ることによって「野菜を食べよう」という意識が高まった。</li> <li>・「自分だったらこう対応する」という考えを持たせながら本の内容を確認することで、保育に対する意識が高まった。</li> </ul>
保体	<p><u>1年「運動やスポーツの多様性」</u>          運動やスポーツへの多様な関わり方の一つとして、図書を活用した調べ学習を行った。調べたテーマは「走力・投力を向上させるためにはどのような練習方法やコツがあるか」である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの本を用意したことで一人一人が積極的に調べ学習に取り組めた。調べたことを互いに発表し合うことで幅広く知識をつけることができた。一冊の本から多くの情報を得ることができるため、幅広い知識の習得につながった。</li> </ul>

総合	<u>3年「修学旅行」</u> 京都・奈良にある寺院について図書を用いて調べ、修学旅行の事前学習とした。	・自分が見学する寺院を事前に調べることで魅力や見所を知ることができ、実際の見学に役立てることができた。
----	---	---

各教科・領域ともに、読書教育を念頭に置きながら授業計画を立てることによって、図書を利用した授業を実践することができた。どの学習においても、生徒の興味・関心を高めたり理解を深めたりする上で図書の利用が有効だったことがうかがえる。どの授業でも、調べ学習をしている生徒の様子は大変真剣であった。授業後に、学習内容に関連した本を図書館で読む生徒の姿も見られた。読書教育が知的好奇心を刺激するための効果的な手段であることが感じられた。

## (2) 課題

今年度、各教科で行った授業が来年度にも生かされ、図書を活用した授業が年間計画の中に組み込まれていくことが必要である。本を読むことによって確かな知識を得たり深く考えたりできることを実感することで、生徒たちの図書への興味は高まるものとする。授業での学びがさらなる読書への興味・関心につながり、自主的な学びに広がっていくよう、各教科での指導を継続させていきたい。

また、学習に関する本だけではなく、さまざまなジャンルの本に興味を持たせるための啓蒙活動にも力を入れ、生徒の読書冊数を増やしていきたい。